

委員会 審査 Q & A

各委員会で付託された 29 議案を審査

本会議で付託された 29 件の議案について、9 日から 16 日にかけて行われた各常任委員会で審査しました。各常任委員会での審査状況について、主な質疑応答の内容をお知らせします。

総務

総務

(委員) 口川 宅田 村島
関 小大村 中福

合併特例債で防災倉庫を建設

Q 合併特例債の防災倉庫整備事業債で新たに設置される防災倉庫の建設場所は？

A すでに小川・玉里地区にはそれぞれ防災備蓄倉庫があり、美野里地区に予定しています。

消防の災害対策(備え)について

Q 災害対策として台風による急な増水等に対処するため、消防署では普段から土嚢(どのおう)の保管をしているのか？

A 今回の台風(12号)では、接近する前日に約1,000袋の土嚢を準備し、市内で危険が想定される箇所には土嚢を積む等の対処をしました。土嚢は各消防署等にあり、それぞれを併せると相当数保管してあります。

公共施設の借地について

Q 消防庁舎など借地料を支払っている公共施設の今後の措置は？

A 契約更新時等には交渉を行い、買収の努力をしていきます。

選挙公報の配布方法について

Q 選挙公報の配布方法を新聞折込とする訳は？

A 配布については、今まで区長にお願いしてきましたが、区に加入する世帯の減少により配布率が低下し、全世帯に届くまでに日数がかかること等から、新聞折込にしたいと考えています。これにより委託料、配布にかかる日数も少なくなり、約94%の世帯に配布されることを想定しています。また、新聞をとっていない世帯については、市内の各公共施設26カ所に公報を配置することで対応したいと考えています。

○ 若い世帯で、新聞もとらない、行政区にも加入していない世帯が出てくると思われるので、全世帯に行き渡るかどうか検証をお願いしたい。

文教福祉

(委員) 口本 瀬井 本
山岩 名 藤山

「小美玉温泉ことぶき」今年度新設オープン!

Q 「小美玉温泉ことぶき」が新しく建設されているが、完成予定は？

A 現在建設している本館施設は、11月末頃に完成する予定です。その後、来年1月末までの間に、既存の施設を取り壊し、その場所にグラウンドゴルフ場の整備と、外構工事、進入路の拡幅工事が行なわれる予定です。すべて整備した後、なるべく早い時期に新施設をオープンしたいと考えています。

Q 新しく温泉を掘削したようだが、泉質は以前と比べてどうか？

A 泉質は、ナトリウム―炭酸水素塩、塩化物冷鉱泉です。この温泉の中に含まれている成分の数値が、以前よりも高い結果が出ていますので、よりよい泉質になったと考えられます。

○ 泉質が良くなったことや効能などをPRしながら、市内外への周知を十分にし、たくさんの人に来てもらえるよう努力していただきたい。

学校給食の残菜について

Q 小美玉学校給食センターが稼働して約1年が経過しました。子どもたちからは、味が薄いため、野菜などの残菜が多く出ていると聞きます。現状と対策は？

A 現在の給食残菜率は、ここ1年の平均で約10%です。給食は、子どもたちの健康（成人病予防など）を配慮したうえで、学校給食摂取基準に基づいた分量での味付けとなっています。給食を提供するうえで最も大事なことは、子どもの健康保持増進を図ること及び、望ましい食習慣を養うことです。栄養教諭や給食主任教諭等と連携をとり、食育推進のよりよい方策を模索しながら、児童生徒・保護者・教職員に、食育について共通認識を持たせられるよう対策を講じていきたいと思えます。

身障者専用駐車場利用証制度を導入

Q 県で10月1日から実施する身障者専用駐車場利用証制度の内容は？

A これまで、内部疾患を持つ身障者は、外見は健常者に見えるのでホームセンターや大型スーパーなど



「いばらき身障者専用駐車場利用証（写真中：フロント中央）」を提示することにより、車いすマークの駐車場の適正利用の推進及び県民への意識啓発並びに障害などのある方の社会参加を支援

に設置されている身障者用駐車場の利用しづらいという問題がありました。そこで、県では、身障者で希望する方に利用証を交付し、それを車の外からでも見える位置に提示することで身障者用駐車場を本来に必要なとして利用しやすいう環境を整える制度を実施します。全国19府県において既に実施されており、関東地方では、群馬県・埼玉県・栃木県などで実施済みです。

○ **利用証を提示することで、不適正な利用が抑制できると思えますが、身障者用駐車場をもっと増やすことも必要であると考えます。**

市長選

(委員) 原藤 村田
萩加 野戸

防災行政無線の整備

Q 防災行政無線の整備状況は？

A 今年度、同報系と呼ばれる親局と移動系と呼ばれる車載型の無線機を避難所に設置する整備に着手し、24年度からは戸別受信機を市内全域の各世帯を対象に順次整備し、26年度の完了を目指しています。また、今回の震災を教訓に、停電時でも重要な災害情報を迅速に提供できるように送信システムの2系統化や各機器の予備電力の配備など、災害に強い防災無線を整備していきます。

茨城空港を生かしたまちづくり

Q 「空の駅」の進捗状況は？

A 茨城空港の開港を契機に、空港周辺を「人、もの、情報」の交流拠点と位置づけ、交流人口の増大と地域経済の活性化を図る施設として（仮称）小美玉市「空の駅」の整備を推進するため、推進委員会を6月1日に設置し、委員会を3回開催しました。

また、推進委員会に専門的事項について検討するための専門部会（建設検討部会）を7月1日に設置し、「空の駅」の基本設計を作成するために基本となる計画づくりの会議を4回開催しており、直売施設、レストラン施設、情報発信施設、加工施設等について各分野からたくさんのご意見が出され、検討を重ねています。

7月6日に基本設計プロポーザル審査委員会を開催し、株式会社佐藤総合計画の提案を最適と特定し採用。基本設計業務の契約を7月25日に締結しました。

「空の駅」の敷地につきましては、約25,500㎡の面積を確保する予定で現在、土地の鑑定業務を行っています。

「小美玉市元気再生プレミアム商品券」発売中！

Q プレミアム商品券の販売状況は？

A プレミアム商品券は、8月7日、市内3箇所において特別販売を行い、その後は商工会の本所、または小川支所にて販売しているところです。売り上げは、9月14日現在で約3,000万円です。一日では平均60万円前後の売り上げで推移して

上下水道料金お客様サービスセンター?・・・水道局の1階に設置され、上下水道料金の徴収及び給水管の申請等の窓口業務を行うところ。

います。

また、休日における特別販売を実施しながら、口コミによる啓発、または特に年末商品を目途に、商工会と連携して販売を拡大するよう進めているところです。



大震災の影響で風評被害や買い控えが広がる中、市内の店舗の活性化を目指し、1万セット用意されたお得な商品券。市商工会で販売中!

農作物のイノシシ被害について

Q 農作物のイノシシ被害の経過は?

A 9月までに農政課に寄せられたイノシシによる農作物の被害は、3件です。1件は下田地区、2件は三箇地区でジャガイモやサトイモや水田が被害に遭っています。

Q その対策は?

A 今後も被害がでる可能性がありますので、農政課と協議のうえ、その対策を検討したいと考えています。

建設

(委員) 目谷川 和村 村
笹古荒 大市 田

幹線道路の進捗状況

Q 田木谷上玉里線と(仮称)栗又四ヶ線の進捗状況は?

A 田木谷上玉里線については、平成23年度中の用地買収を目標にしており、平成24年度には、埋蔵文化財の発掘調査を行う予定で事業を進めています。(仮称)栗又四ヶ線については、未だ一部区間に用地のご理解が得られていない方がありますので、協力が得られるよう今後も用地交渉を重ね、早期に工事着手できるように事業を進めていきます。

下水道事業全般について

Q 公共下水道の接続率は?

A 公共下水道の接続率は70・5%です。

Q 接続率が低いが、未加入者に対する指導は?

A 未加入者には、文書等で徹底した指導をしていきたいと考えています。

Q 農業集落排水事業の供用開始した箇所は?

A 小川地区の巴南部、美野里地区の納場北部、堅倉南部の3カ所です。

Q 接続率は?

A 23年4月1日現在の接続率は、巴南部が56・5%、納場北部が88・8%、堅倉南部が59・6%、全体で64・9%です。

Q 今後の事業計画は?

A 24年度は、巴中部の上吉影地区が実施設計に入り、25年度からは上吉影地区の管の埋設工事等に入る予定です。

Q 戸別浄化槽事業で、これまでに設置した数は?

A 20年が28基、21年が30基、22年が27基、合計85基です。

水道水の安定供給を

Q 石綿管布設替工事の進捗状況は?

A 平成22年度末現在、残延長58, 572mで、進捗率は約59%です。

Q お客様センターの状況は?

A センターは8名で運営しています。人件費を考えるとまだマイナス

の部分の方が多い状況ですが、過年度分の収納率がかなり上がっていますので、契約3年間の残り1年半に実績を出していただけるようお願いしています。

Q 震災時、美野里地区の水道は出なかったが、今後の災害時の対応は?

A 非常時用の自家発電機を美野里浄水場に2機、小川浄水場に2機、合計4機を用意する予定です。

Q その数で足りるのか?

A 断水にならない程度に給水できると考えています。

市道認定について

Q 市道路線の認定箇所である下吉影地区の道路は大きな落差があり、事故が心配されるのでは?

A 日陰部分は路面凍結による危険性のある道路ですので、大きなカーブをとり勾配を緩やかにすることや滑り止め舗装を行うなど、安全が確保されるよう施工していきます。